

静岡がんセンター病院事業経営見通し（平成 28～32 年度）に対する 平成 28 年度の実績・評価

1 概要・経緯

- 平成 27 年3月31日、「公立病院改革の推進について」(総務省自治財政局長通知)が示される。
- 平成 28 年度から平成 32 年度までを計画期間とした「静岡がんセンター病院事業経営見通し(静岡がんセンター病院改革プラン)」を、平成 29 年3月に策定した。
- このたび、平成28年度事業について、次のように評価した。

2 静岡がんセンター病院事業経営見通しに対する平成 28 年度の実績・評価

○ 計画、実績

(単位:百万円・税込)

年度		27 実績	28 計画	28 実績
収入	医業収益	23,491	26,145	25,519
	医業外収益	7,042	7,085	6,921
	経常収益(A)	30,533	33,230	32,440
支出	経常費用(B)	30,426	33,236	32,146
経常損益(C=A-B)		107	▲6	294
特別損益(D)		▲72	▲133	▲139
純損益(C+D)		35	▲139	155

○ 数値目標の実績・評価

年度		27 実績	28 計画	28 実績	達成度
経常収支比率		100.4%	100.0%	100.9%	◎
医業収支比率		80.4%	80.0%	82.6%	◎
職員給与比率		45.5%	43.4%	44.1%	○
病床利用率		87.4%	90.5%	91.6%	◎
患者診療 療収益	入院	65,096 円	65,155 円	65,572 円	◎
	外来	36,942 円	43,070 円	40,334 円	×

*患者診療収益:患者1人1日当たりの診療収益

※達成度:◎=計画以上、○=概ね計画どおり、×=計画以下

【平成 28 年度 評価】

- 病院事業における収入確保に向け、主に病床利用率及び手術件数を目標に掲げ、経営戦略会議をはじめとした会議で毎週報告し、進捗管理を行った。
- 病床利用率の確保については、主に、各診療科と病棟が連絡を密に取ることによる空床が生じないようにするための病床管理と効率的な運用や、可能な範囲での入退院調整に取り組んだ。

- 手術件数については、手術待機者数の把握等による手術室と関係診療科間での手術枠の調整等に取り組んだ。
- 経費の削減については、薬価交渉等による薬品購入費の削減や同等廉価品への切り替え等に取り組んだ。
- 病床利用率の向上、外来患者数の増加等に伴う収入が増加したこと等により、病院事業の決算は、1億55百万円の黒字となった。

3 今後の方向性

- 病院事業の黒字の維持のため、適切な目標設定と進捗管理、その他の管理指標の分析等を行い、必要な対策と改善により、引き続き、効率的な運営に努める。
- 静岡がんセンターは、医療圏唯一の高度先端医療の提供を行う特定機能病院、都道府県がん診療連携拠点病院として診療業務を行っており、静岡県在住者を中心とした患者さん等への診療密度の高い医療の提供が期待されていることから、引き続き、高度急性期機能、急性期機能の提供に努める。また、世界、日本のがん医療の現況を意識しながら、「がん医療のフロントランナー」としての活動を進めていく。